

めざす学校像 **子どもたちが 笑顔で 学び合い 認め合う 感動あふれる学校**



学校教育目標

よく考え工夫する子 仲よく助けあう子 明るく強い子

基本理念

学校とは「みんなが楽しく学ぶところ」である～**熱意・誠意・創意をもって**～

キャッチフレーズ

笑顔いっぱい 気持ちいっぱい ひとみかがやく西小っ子

国・埼玉県・蕨市から

- ・日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領・第3期埼玉県教育振興基本計画
- ・県教育委員会「指導の重点」
- ・蕨市教育の基本理念「生きる力を育み ともに学び 未来を拓く蕨の教育」の具現化



地域・保護者・教職員の願い

- ・厳しい時代を生き抜く力
- ・基本的な生活習慣の定着
- ・確かな学力と体力の向上
- ・たくましい心と体・「あいさつ、返事、お礼」の習慣化
- ・やり抜く力（GRIT）の育成
- ・非認知能力の育成「自制心」「やり抜く力」「協調性」

学校像実現のための重点課題（キーワード：①時を守り、場を清め、礼を正す ②凡事徹底 ③よい子～よく聞きよく考える子・④じめをしない子・⑤言葉をはっきり言う子～）

よく考え工夫する子（知）

- 一人一人を確実に伸ばす教育の推進（学力検査結果全国平均）
- 授業改善6つの視点達成率 **8割を超える教師8割以上**
 - ①始まりと終わりの時刻を守る授業（45分間）の徹底
 - ②導入は内容をしぼって短く。（系統性を意識して）
 - ③学習課題やめあてを必ず提示する。（既習事項を生かして）
 - ④個の学びの時間を確保（授業のユニバーサルデザイン化）
 - ⑤集団の学びの中で、意見を交換し、自らの考えを深める時間の確保（ICTの活用）
 - ⑥授業のまとめや振り返りの時間の確保
- 家庭学習の習慣化
 - ・学年×10分+10分＝標準家庭学習時間
 - ・タブレットを活用したドリル学習

仲よく助けあう子（徳）

- あいさつ、返事、お礼の徹底
 - ・あいさつ：「自分から、目を見て、心をこめて」
 - ・返事：「はっきり、すっきり」「はい」と返事
 - ・お礼：「ありがとうございます。」頭を下げて、声に出して
 - 道徳科、学級活動の確実な実践
 - ・35時間（1年生：34時間）の確実な実践
 - ・学級会での話し合いの確実な実践（18時間以上）
 - 規律と落ち着きのある環境
 - ・15分間の無言清掃
 - ・不登校ゼロをめざす
 - ・いじめの未然防止と確実な対応（学校生活アンケートの定期的な実施と迅速な対応）
- ※家庭とのこまめな連携

明るく強い子（体）

- 達成を目指す具体目標
 - ・体力テストA+B+C=80%超（R5=76.0%）
- 目標をもち、全力で取り組む体育実践
 - ・児童が夢中になって力を発揮できる場の設定
 - ・授業内での運動量の確保
 - ・できた、わかった、伸びた体験により達成感を味わわせる。
- 外遊びの奨励
 - ・仲よく、元気に、全力で
- 民間施設を活用した水泳指導実践（蕨市のモデルケースとしての役割を果たす）

学校を支える6つの基盤

生徒指導・教育相談体制の強化

- あいさつ、返事、お礼の徹底
- 生徒指導推進委員会を軸にした情報の共有化と組織的な対応
- 不登校ゼロをめざす
- いじめの未然防止・早期発見・早期解決

心の教育の充実

- 読書活動の推進【年間達成目標冊数・1～3年50冊、4～6年30冊】（高学年はページ数が多いため）
- 人権感覚育成プログラム学校教育編第2集の計画的な活用
- 縦割り班活動の計画的な実施

「開かれた学校」づくり

- 社会に開かれた教育課程
- 児童の姿、学校の姿が見える情報発信
- ホームページ・アプリ配信の効果的活用
- 学校応援団活動との連携の充実
- 保護者・地域との連携

安心・安全な学校

- 危機管理マニュアルの不断の見直しと徹底
- 安全・安心な登下校
- 交通安全、防災教育、防犯教育の実践

児童が変容する課題研修

- 児童が変容する特別活動授業の推進
- 思考力・判断力・表現力の育成
- ICT機器の効果的な活用
- プログラミング教育の推進

特別支援教育の充実

- プランA、プランBの計画的作成と指導の充実
- 特別支援学校及び特別支援学級のセンター的機能の活用
- 教職員研修の充実

家庭や地域とともに歩む学校

- 学校運営協議会の提言
- 学校応援団の活躍
- 地域の教育力活用
- 授業や学校行事の積極的な公開と連携
- 地域の力を借りた登下校時の安全確保
- 学校関係者による評価
- 学校ファームで農業体験
- PTAとの支え合い